

様式第 1 号

会 議 録

会議の名称	平成 25 年度第 1 回所沢市敬老会行事検討委員会
開催日時	平成 25 年 5 月 29 日 (水) 午前 9 時 30 分から午前 11 時 00 分まで
開催場所	市庁舎 高層棟 8 階大会議室
出席者の氏名	安田委員、渡辺委員、大館委員、本橋委員、鈴木委員、 内田委員、加藤委員、稲津委員、清水委員、中村委員 森田委員、山上委員、大庭委員、難波委員、丸山委員 中村委員
欠席者の氏名	大島委員、二村委員、岡村委員
議 題	( 1 ) 平成 25 年度の敬老会行事について ( 報告 ) ( 2 ) 平成 26 年度以降の敬老会行事の在り方について ( 3 ) その他
会議資料	会議次第 資料 1 平成 25 年度敬老会対象者数表 資料 2 平成 25 年度敬老会行事交付金仮算定表 資料 3 茶業協会・農業振興課との打ち合わせ事項 資料 4 市長祝辞文 資料 5 平成 26 年度以降の敬老会行事の在り方について ( 提言 ) ( 案 )
担当部課名	本橋福祉部長、美甘福祉部次長、池田高齢者支援課長 高齢者支援課 ( 秋山主査、清水主任、藤田主任 ) 事務局 福祉部高齢者支援課 電話 04-2998-9120

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>開会 挨拶 委員長、福祉部長</p>
	<p><u>議題（１）平成 25 年度の敬老会行事について（報告）</u> ・事務局より、資料に基づき説明を行う。</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して、質問、意見等があれば、お願いします。 （委員一同意見なし）</p>
委員長	<p>意見等なければ、議題 2 に移りたいと思いますが、皆さんよろしいですか。 （委員一同了承）</p>
委員長	<p><u>議題（２）平成 26 年度以降の敬老会行事の在り方について</u> ・事務局より、資料に基づき説明を行う。</p>
委員長	<p>事前に送付された資料について、事務局よりご説明いただきました。皆さんも事前に目を通されていると思いますが、これは提言のたたき台としての案ということです。これをまとめたものを 7 月の委嘱状交付式の時に市長さんに渡すような段取りで、しかし今日で全てが決定することではありませんので、皆さんのご意見を拝聴しながら、まとめていきたいと思っております。前半と後半で区切りながら添削をしていきたいと思いますが、皆さんご意見はありますか。</p>
委員 （吾妻）	<p>予算が前年、前々年と同額という事で、これ（予算）を増やす提言ということで考えてよいですか。</p>
事務局	<p>予算が同額であっても、対象者数が年々増加している中では、実質一人当たりの単価は下がっているということで、提言案の後半にありますように、対象者数の増加に対応できるような予算的配慮も必要であり予算額増額をお願いしたいという内容にしております。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員 （吾妻）	<p>議会の方に予算的なものを通さなくてはならないということで、議会の方に提言するということをふまえた形で内容を検討していくことなのか、また、この中に記載しているとおり 29 年度は 4 万人を超える見込みということになると、現状の予算ではとても足りなくなる、逆にやらなくてもよいのではないかという意見がでてくるくらい少子高齢化が進んでいる。先を考えた形で、敬老会をこれから継続していくということを地域に求めてくるのでしたら、当然行政としては私達の意見をとりいれながらも、予算を市の方からとらなくてはいけないじゃないですか。75 歳以上の人が増えつつ、予算は横ばいということでは地域で活動する部分が苦しくなる。敬老会をやらせていただくのなら、その内容を、75 歳、80 歳というのを 75 歳 1 回にするとか、そういうことをやらないと、所沢市は今苦しいということで、どんなことでも切られてきています。今市長の話聞いていたのですが、コミュニティ条例においても、住民の方も、理事会の方も、商工会の方も市にお金を求めてくるけど、そうではないだろうという言い方をしていました。相対的にどこかの部分を切っていくかといけないと思いますが、今のお金が 1000 万円増えるということを事務局は考えていますか。</p>
高齢者支援 課長	<p>市の財政事情も大変厳しい中、委員さんのおっしゃるとおり、敬老行事交付金の増額についても、大変厳しい状況とは捉えております。</p>
委員 （吾妻）	<p>お答えでは、現状はとても難しいから、このままなんとか工夫するということですね。</p>
福祉部長	<p>予算については、民生費が一般会計の 46% を占める中で、大変厳しい状況にはございます。ただ皆さんからご提言いただいた内容については、極力事務局の方も努力してまいりたいと思います。また、この先のことについても、確かに高齢者の方は増えてまいります。検討会の在り方自体についても、皆さんにもご検討いただきたいと思っております。委員（吾妻）さんからご提案ありました 75 歳に統一してもという話も、実は事務局の方でもそういったことも検討したいということで考えてはおります。ただ敬老会行事につきま</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員 （新所沢）	<p>しては、形を変えてでも、敬意を表するといった意味からしても、何らかの形でやりたいと思っています。皆様様々のご意見があると思いますので、それらを聞きながらまとめていければと思っています。</p> <p>初めの段落の所で充実させてほしい所として、超高齢社会に向けて高齢者を敬う精神を高めていくことも大事だが、超高齢社会をどう見るかという事で、福祉政策が充実して平均寿命が長くなることで高齢者が増えていくことは結構なことだということをこの第一のパラグラフの中にいれていくべきと思います。出生率の低下で若い人の比率が減っていくことは問題点であるが、高齢者が増えていることは、結構なこと、喜ぶべきことだということが一言入ると、所沢の高齢者の政策は非常に充実したものだ、これを読んだ方は感じるのではないかと私は思います。</p>
委員長	<p>多くの皆さんの意見をいただきながら、整理をして提言書としてまとめていきたいと思っています。他のご意見はありますか。</p>
委員 （三ヶ島）	<p>このアンダーラインを引いた最後の最後に、「予算額増額をお願いするものである。」とあるが、ひょっとするとこの部分は飛ばして目に入らなくなる。この増額したいという部分をもっと強調したい。そのためには、この部分をもっと前にもってきたらどうかと思う。委員（新所沢）が言ったように、お年寄りをもっと大切にしたい。是非そのあたりを尊重してもっと前にもってきてほしいと思います。もう一点は前に過ぎてしまって申し訳ありませんが、統一祝品ののしの件について、地区敬老会実行委員会ではなくて所沢市のほうがよいと思う。地区名だけだと市は何をしてきているんだという話になるので、個人的な要望は、ここを所沢市にしたいです。</p>
委員長	<p>今のご意見は、提言の部分について強調してほしいということと、また、のしについては、事務局で精査していただければと思います。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>のしの件がありました。その事は今ここで決めていただきたいと思ひます。この統一祝品については、もともと H21 以前は各地区でそれぞれの品物を贈呈して、それを全地区統一したという経緯があります。この統一祝品については、地区の実行委員さんの想ひもありまして、地区実行委員会という希望があったわけです。今委員（三ヶ島）さんから所沢市との意見がありました。そうするかどうかは、皆さんの総意で決定していただきたいと思ひます。また茶業協会さんへの発注の関係で、数も多いです。もし去年と違うのしにするようなら、混乱も起きますので早めに伝達をしなければなりません。その点も含め今日ここで決定しておきたい事項です。</p>
委員長	<p>分かりました。それでは委員（三ヶ島）から提案のありました事項について、所沢市を入れた方がよろしいでしょうか。申し訳ありませんが、入れた方がよいという方は挙手をお願いします。 （5人挙手）</p>
委員 （吾妻ま ちセン長）	<p>質問ですが、これは統一しなくてははいけませんか。それぞれの地区に任せるといふ形でははいけませんか。</p>
事務局	<p>実は、茶業協会さんの方からは、できれば統一していただきたいという話はいただいています。一点ご質問なのですが、今のお話は、「所沢市 地区敬老会実行委員会」と両方併記するといふ意味なのか、それとも「所沢市」とだけなのか、その点をお伺ひしたいのですが。</p>
委員 （三ヶ島）	<p>所沢市を前につけて、「所沢市 地区敬老会実行委員会」とした方がよいのではないかと思ひます。</p>
委員長	<p>それでは、「所沢市 地区敬老会実行委員会」として、外のものにするといふことで、皆さんよろしいですか。</p>
委員一同	<p>委員一同了承</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>その件はそのようにお願いします。他に提言の中でご意見はありますか。</p>
委員 (松井)	<p>この提言は26年以降、これを参考にしていくわけで、我々の気持ちとしては増額をしてほしいですが、執行部としては、足りない、足りないとなってくる。そうすると我々も、ここにあるように敬老会も変わる時期にきている事を考えると、統一祝品については、75歳到達者、80歳、また市で88歳に祝品贈呈となると、そろそろ80歳あたりをやらないようにしますという事ぐらいここで検討して、入れておかないと、これからの高齢者がどんどん増えていくと、またいつも予算のことで押し問答になる。また高齢者の意見を聞くと、祝品をもらえるのは嬉しいけれど、（市の財政状況的にはどうなのか）という意見もありますので、私は、その辺の検討をしているんだ、という事をこの文章に入れるべきだと思っています。80歳は、そろそろ検討時期にきていると、そういう文面で書けるかどうかは別として、そういうことを含んでおくべきだというのが、私の提案です。</p>
委員長	<p>今、年齢のことがでましたが、これを提言の中に織り込んでいければということです。これはご意見ですので総意ということにはなっておりませんので、ここで総意であるならば、総意ということにさせていただければ、尚有難いですが、その点いかがですか。</p>
委員 (吾妻)	<p>ここでやはり、予算額を増額するという事を、まず先頭にもってきて、私はずっと敬老会をやっているのですが、75歳、80歳とありますが、75歳はまず大体が敬老会にこないのです。嫌がります。招待状をお持ちしても「まだそんな歳じゃない」と言われます。75歳の方ということでやらないと、増額、増額と言っても、市のほうでも頑張ってきたと言ってきているわけですから、来年度も期待はできない。では、どこかで削っていかないといけないとなると、75歳、80歳を75歳だけというふうに提言した方がよろしいのではないのでしょうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員 （三ヶ島）	<p>私は75歳で一本化するということには、賛成です。同時にこれは私の要望ですけれど、今までは市の交付金ということで、我々がいただいて配ってきましたが、市の方で配っていただけないでしょうか。配ることが煩雑で大変です。であるならば、やはり市の方で75歳を配っていただきたいというのが、私の意見です。</p>
委員長	<p>他にご意見はありますか。委員（民児連会長）どうですか。</p>
委員 （民児連会長）	<p>提言の文書構成をみますと、言いたい事が浮き上がっていない感じがします。しかも、内容的に矛盾点があるように思います。例えば「本市の財政状況も大変厳しいものと理解している、敬老会行事についても転換期を迎えている」とあるが、一体誰がどう転換するのかということが解りにくい。と言いながら「新たな形式が確実に定着している」と、これは気運が高まっているから変更できないよ、というように読み取っていいのかどうか。そうすると矛盾点を生じる。この点がひとつ。それから、「心温まる敬老会行事を継続するために交付金を・・・」とあるが、市側も予算的配慮を増額ということで積極的にやっていただけるのではないかというふうに、提言、要望といえは要望ですけれど、そういうふうに受け取れるので、この辺をもう少し整理して、委員（三ヶ島）さんが言われた通り、主張する所、お願いする所をまずトップに書く。そしてその後に予算の必要論を書く。文書構成を少し変えたらどうかと感じた次第です。</p>
委員長	<p>文書構成の指摘です。その他に委員（長生連会長）は如何ですか。</p>
委員 （長生連会長）	<p>元を正せば、これは内部原稿ですよね。結局、市の方にもいい顔をしたいし、委員会の方にもいい顔をしたい。そういう形で作ったものだから、こういう原稿になった。組織の代表の文章の場合ではよくない。それと、今75歳と80歳になっていますが、元々は敬老会ある意味においては、成人式方式がよいのではないかという意見もあった。一生に一度と。高齢者社会になったら1回では可哀そうだから、75歳と88歳はどうかという案が出た。ただ88歳は現場に</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>出てくるのか大変ということで、では年齢を下げて 75 歳と 80 歳でどうかという意見もあった。将来の事を考えると、もう一回成人式方式、一生に一度お祝いをやったほうが長続きするのではないかと同時に敬老会行事を 75 歳でお祝いをしてもらった、これから長寿社会の中の一員として我々頑張ろう、賢い年寄りになろうという自覚が出てくるのではないかと私は考えます。</p> <p>その他、委員（小手指）は、如何ですか。</p>
委員 （小手指）	<p>いろいろな意見を聞いて、内容についてもごもっともと思う所が多いです。今言われた式典の対象者についても、成人式は一生に一度、敬老会については 75 歳を過ぎたら、何年でも、しかも毎年ということで、私も成人式と同じように 75 歳になった時に一回お祝いをしてあげればいいのか、支援していく役員としてはこんないい事はないが、ただやっぱりそれでいいのかなという部分も今感じているところです。ですから皆さんの意見を聞いて、もう少し考えていかななくてはいいのかなと、そういう気がしております。</p>
委員長	<p>委員（並木）さんは如何ですか。</p>
委員 （並木）	<p>いろいろな意見がでておりますが、検討委員会でも同じことの繰り返しが出てきているのかなと思います。その中で一番問題なのが予算ですね。高齢者はどんどん増えてくるけど、予算は減ってしまう、一人当たりの単価が少ない、単価が関係ない所もあるが、大概の所はやはり単価はもう少しほしいよという声が大きいです。ですからこの中の文章でも敬老会は対象が増えるから、予算を減らすのは違うというアピールを最初に出したいと思います。もう一点 75 歳 80 歳の件は、やはり自分もそうですが、段々と対象者年齢がずれていくということがあり貰っていないという事が出てきますが、75 歳・80 歳がいいか、75 歳一回がいいかは、そのへんの判断は、もうちょっと割り切るのはい先でもいいかな、1, 2 年見てからでもいいかなという感じがしております。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>年齢という意味では、確かに 70 歳から切りあげて 75 歳に至った経緯があります。これからこの提言の中には、年齢の部分もいれておかないといけないのかなと思いますが、文書構成のことも言われていますので、その事の精査も必要になってくると思います。</p> <p>委員（富岡）は如何でしょうか。</p>
委員 （富岡）	<p>私も敬老会に出席した人の意見も聞いております。対象年齢が上がった時、5 年間待ち遠しいという声もありました。80 歳になるとまた 5 年間待たなくてはならない、ということがあるので色々問題があるのではないかなと思います。ではどうすればいいかというのが、今はすぐに出てきませんので、一度色々検討した方がよいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>難しい問題と思います。委員（柳瀬）は如何ですか。</p>
委員 （柳瀬）	<p>文書構成上は、やはり概意は冒頭にもってきた方がいいと思います。中身としては予算の増額要望は要件と思いますが、ただほしいほしいというだけでは、あまりにも稚拙な感じもいたしますので、やはりその代替案といえますか、場合によっては後期高齢者の入口である 75 歳に限定することも必要だと、そういう事も検討委員会の意見として書き添えておくべきだと、そう思います。</p>
委員長	<p>委員（長生連）は如何ですか。</p>
委員 （長生連）	<p>同意見です。一本化するのでしたら、やはりその事をこの文章にいれて、それで増額をお願いする。こちらもなんとかしたいから、それで増額をお願いしたい、とした方が文章としてはよろしいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>委員（社協）はどうでしょうか。</p>
委員 （社協）	<p>文書構成などご意見がありましたが、75 歳、80 歳の件については、26 年度以降ということで、すぐに結論はでないのではないかと感じました。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員 （柳瀬まち セン）	委員の立場では、やはり増額して敬老会行事そのものが充実していくという意見は、これはしっかり出していく必要があると思います。また現在の財政事情を鑑みた時に、最初に委員（松井）さんが言われたように年齢を検討する必要があると、このことについても、この委員会の中で敬老会行事そのものを今後どうしていけばいいかも含めて、しっかり検討していく必要、意思を表明する必要があると思います。
委員 （吾妻）	私はこの委員会はまだ何回目かの出席ですが、何故委員（長生ク連）さんがいるのでしょうか。おかしいと思うが。こちらは主催者で、長生クラブの方は、やらせていただくほうの方の立場の方だが、何故いらっしゃるのか市のかた教えてもらいたいのですが。
事務局	検討委員会設置要綱の中で、委員の構成を決めております。主催者側だけで検討するということでしたら、検討委員会ということではなく、運営委員会ということになってしまいます。主催する側、される側、皆さんで、敬老会というのはどういうふうに行っていたほうがよいのかを審議していただく場として始まっていますので、そういう趣旨で、主催する実行委員側、実際事務局として動かれるまちづくりセンター、また招待される側としての長生クラブ連合会の方々等をメンバーとしています。運営委員会と違い、将来的にどういう敬老会を行っていきたいかというのは、やはり主催する側とされる側両方の意見が必要と思っております。
委員 （長生連会 長）	これには、敬老会の歴史みたいなものがありますが、以前は道路一本挟んで同じ地区であっても、羊羹が何本だった、うちにはあった、無かった等、内容の違いが言われることがありました。やはり市からの交付金をいただいて行っている以上、同じようにお祝いしてもらおうほうがいいのではないかとということで、我々としてはお祝を受ける立場として、（そういった）話を皆さんにお願いしながら参加しています。
委員 （松井）	今提言案として、文々を色々やってきているけれど、毎年検討委員会を開いているのだから、提言などはしなくてもいいのかなと

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員 （民児連会長）	<p>思うが。逆に、この提言によって運営していく、といったやり方はもうそろそろやめてもいいのではないかと思う。私は提言を出さなくてもいいのではと思うがそこを確認したいのです。出さなくてはいけないのでしょうか。</p> <p>提言について文書構成をどうするかといった議論に入っているが、それ以前に、委員（松井）が言っているように、提言書を出すかどうかの部分について、曖昧だったような気がするが、これは出すという前提で話をしているのですか。</p>
福祉部長	<p>前回の会議で皆さんにご審議していただいた際に、予算の増額ということで、お話があったと思います。予算の増額となりますと、やはり事務局だけでは、なかなか執行部（予算を管理している所）にもっていくのは、大変難しいところがございます。出来ればこの検討委員会の中で、提言という形でいただければ、こちらとしても後押しされるという形になりますので、大変心強いという意味で、提言をまとめていただけたらというお話をさせていただいた所でございます。もし今日提言にまとまらないようでしたら、来年度の予算編成は 8 月位までなら大丈夫ですので、新たにそこで日にちを設定させていただければと思っております。</p>
委員長	<p>市の方では、（予算増額のためには）できれば提言書という形で提出していただければというお話でしたが、一方提言書に縛られないほうがいいのかという委員の提案がある中で、今回については、提言書を出したいということでの前提で話を進めていくということによろしいですか。</p>
委員 （民児連会長）	<p>提出するということが決まればそれで結構ですが、提出する以上は、やはり論点を絞って何を求めているかといった事をきちっとしないと、これは新聞などの解説ではないですので、やはりもっと敬老会実行委員会なり、地域の敬老会の実態を強く訴えて、だからもっと交付金が必要なんだということを明確に打ち出さないと、この提言では通らないのではないかと私は思います。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員 （吾妻まち セン）	<p>アンダーラインの冒頭、「不況の影響など」という部分はいらな いと思います。また、この敬老行事交付金というのは、変わらない のですか。（対象者が増加している中で）増えてはいないのでしょ うか。「新たな形式が確実に定着しておりよりよい敬老会にしよう とする気運も高まっている」「対象者の増加に対応できるよう」と ありますが、いかに敬老会に参加する人を増やすのかなというところ がメインになってきていると私的には感じていて、高齢者が参加 しやすい環境づくりのために交付金が必要なんだと、ですから会場 がだんだん増えてきているのも、そうした背景があると思います し、そういった内容も入れた方がいいのではないかなと思います。</p>
委員長	<p>ほとんどの方から意見をいただいたということですが、その他に ありますか。</p>
委員 （吾妻）	<p>資料2の（交付金の）表の中に統一祝品費 75 歳、80 歳の列があ りますが、80 歳の金額を削った場合、高齢者が増加する部分を行政 でも補えるのではないかと、単に提案だけで、こうしたら如何かとい うより、確実なものをもっていくには、ギブアンドテイクで市の方 も現状維持の形で頑張ってきているが、ただ高齢者も増えてきま すので、その辺をここで検討してほしいというのが、本来の真意だ と思うのです。ですから今、各自勝手に意見を言ってまとまりがつか ないところで持ち帰っても、やはり提言書として書ける部分がと ても迷うこともあると思うので、市長に提出する部分では、折角検 討委員会を開いているのですから、先ほど意見があったように75 歳 の、入口、最初の年齢で祝品を贈呈する。80 歳を削る事によっ ては、予算増額的な事を多少お願いするにしても、折り合いがつく のではないのでしょうか。そんな形でこの提言書を提出という事が、こ の検討委員会としては、より好ましいと思います。市民ですから市 の大変さも予算をみますと、よく分かります。そういう事を鑑み て、ご提案としてはどうでしょう。80 歳を削る事によって、統一祝 品の額が大幅に変わりますので、その分を増加する高齢者の事業の 分に充てる、それでも足りないのであれば、増額の部分で部長に頑 張っていただく。折角の検討委員なのですから、8 月までずるず ると持っていく必要はないと思います。如何でしょうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員長	<p>今、委員（吾妻）からご提案がありました。75歳、80歳の統一祝品の件について、この点を精査しながら、提言書の中に入れていくことで、双方の痛みわけも考えられるだろうということでございます。委員（所沢）お願いします。</p>
委員 （所沢）	<p>皆さんからいろいろご意見をいただきましたが、私も将来予算が増額すればいいが、そうならない場合を、やはり考えておかななくてはいけないと思っております。成人式方式を少し変更して、お祝品は75歳ということにして、敬老会は75歳以上にすればいいのではないかと思います。そうすれば、毎年敬老会行事は開かれますので、今年欠席でも来年は出席できます、という方もいらっしゃると思います。今敬老会行事に参加者は低迷しておりますが、体調を考えると毎年は無理という方もいると思いますので、敬老会行事はそのまま存続させて、お祝品対象者を75歳だけにして続けていければよいと思います。</p>
委員長 （山口）	<p>私もここで77歳になりましたが、やはり70歳から75歳に変更した時に待ったことが、ありました。これも皆さんの総意で決めなければなりません。統一祝品の年齢を75歳に一本化していく。年齢制限を設けていただく、予算やその先も考えていくと、皆さんの意見がそういう方向に向いているようですので、提言の中に入れていくと、そして増額というものについても、十分な対応ができるように文章の精査をまた改めてしていただく。提言書をまとめた場合には、今日が最後ではありませんので、もう1回開催してもかまいませんが、皆さんの手元に提言案を修正したものを送付して、皆さんの意見を事務局にいただき、対応するというところでよろしいですか。また、今一度確認をいたしますが、提言書の中に入れる文書としては、統一祝品は75歳に限定するというところでよろしいですか。</p>
委員一同	<p>委員一同了承</p>
委員長	<p>それではそのようにお願いします。また、提言書は半永久的に繋がるものではないので、問題が生じればその都度考えていかななくてはいけないということです。よろしく願いいたします。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員 （新所沢）	<p>今の意見には賛成です。あとちょっと、先ほど委員（長生連会長）のおっしゃっていた意見についてですが、成人式方式（75歳で一回）については、議論がまとまらないうちに終わってしまっていますが、こちらについても委員会なので決着をつけた方がよいと思うのです。私は成人式方式には反対です。成人式方式だと一回だけおしまいということですけど、今年は出られないけれど、次はという方がいらっしゃると思いますので、私は反対というのを申し上げておきます。</p>
委員長	<p>今日のところについては、先ず提言をまとめるということで、成人式方式、その他の事については、今回は置いてもらって、今回は統一祝品を75歳にまとめるということをご皆さんで確認したということにしたいと思います。</p>
事務局	<p>最後にひとつ確認したいことがございます。来年度以降について皆様に活発なご意見をいただいて、だいぶ方向性がみえてきたように思います。75歳に一本化した場合、先ほど委員（三ヶ島）さんからお話がありましたが、今年はもう今年のスケジュールで開始しておりますので変更は難しいのですが、今までは統一祝品は地区で手渡しをしたいという想いのある地区もあるというお話を伺ってありますが、75歳についても市で行ってほしいという意見が出ていたように思いますがこの辺はいかがですか。</p>
委員長	<p>先ほどその事については、委員（三ヶ島）より、統一祝品を市で行ってほしいとの意見もありましたが、皆さん地区でやるということで、よろしいのでしょうか。どうですか。</p>
委員一同	<p>（地区でやります。）委員一同了承</p>
事務局	<p>分かりました。</p>
委員長	<p>この事も来年度以降に繋がっていきますが、26年度以降の敬老会の在り方についてこの辺で議事をお返ししたいと思います。よろしいでしょうか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員一同	委員一同了承
委員長	議事が全て終了しましたので、事務局にお返しします。
事務局	どうもありがとうございました。
	事務局から1点ございます。今回の会議をもちまして、平成22年度からお引き受けいただきました3年間の任期での会議が終了いたしました。皆様ありがとうございました。次回は新たにご推薦をいただきまして、7月16日の午後に次期敬老会行事検討委員の委嘱状交付式を行う予定となっております。改めて通知は送付する予定です。
事務局	では、閉会にあたりまして副委員長からご挨拶をお願いいたします。
副委員長	（副委員長挨拶）
事務局	それではこれで会議を終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。